

6 快適で利便性に富んだまち

総合基本計画関連ページ

第5章施策の体系

6 快適で利便性に富んだまち

232ページ

附属資料

1 基本計画（第5章）施策の体系 政策指標における現状値

284ページ

基本施策6-① 公共交通網の充実

46 A バス年間乗客数を増やします

A バス乗降客数 97,646人（令和2年度時点）

【評価対象事業】

87 交通機関対策等事業

交通対策課

47 自転車等駐車場の利用率を高めます

各月平均自転車等駐車場利用率 32.0%（令和2年度時点）

【評価対象事業】

88 自転車等駐車場管理事務

交通対策課

48 東京都シルバーバスの保有者数を増やします

東京都シルバーバスの保有者数 5,895人（令和2年9月時点）対象外

基本施策6-② 道路環境の整備

49 事業化された都市計画道路の整備を着実に進めます

都市計画道路 3・4・1 号末整備率 64%（令和2年度末時点）

【評価対象事業】

89 都市計画道路 3・4・1 号第1期整備事業

建設課

50 歩道の延長と幅員の確保により、快適な歩行空間をつくります

歩道の延長距離 総延長79,763m（令和2年度末時点）

歩道の総面積 226,847㎡（令和2年度末時点）

【評価対象事業】

90 道路維持管理事務

管理課

91 市道舗装改修等事業

建設課

92 管内道路整備事業

管理課

51 交差点付近の植樹帯・街路樹を整備し、視界を確保します

1箇所（延長16.5m、幅1.25m、面積23.10㎡）（令和2年度時点）

【評価対象事業】

90 道路維持管理事務

管理課

92 管内道路整備事業

管理課

基本施策6-③ 深層地下水 100% 水道水の供給

52 直接飲用率を高めます

水道水をそのまま飲む市民の割合 72.1%（令和元年時点）

評価対象外

53 管路の耐震適合率を高めます

管路の耐震適合率 56.8%（令和2年度末時点）

評価対象外

基本施策6-④ 下水道の維持管理

54 公共下水道雨水管の重点整備を推進します

公共下水道雨水管の整備率 46.4%（令和2年度末時点）

評価対象外

54 下水道施設老朽化対策を推進します

下水道施設老朽化対策の整備率 6%（令和2年度末時点）

評価対象外

基本施策6-⑤ 市街地の整備

55 まちなみや景観を美しいと思う市民の割合を増やします

昭島のまちなみや景観を「美しいと思う」「やや美しいと思う」市民の割合 57.9%（令和元年時点）

【評価対象事業】

93 都市計画審議会事務



都市計画課

94 都市計画推進事業



都市計画課

56	住み続けたいと思う市民の割合を増やします（再掲） 昭島市に「今後とも住み続けたい」「どちらかというに住み続けたい」と思う市民の割合 81.8%（令和元年時点） 【評価対象事業】 93都市計画審議会事務	都市計画課
基本施策6-⑥ 快適な公園の確保		
57	市民一人当たりの公園面積を増やします 市民一人当たりの公園面積 10.84㎡（令和2年時点） 【評価対象事業】 95公園維持管理事務 96児童遊園維持管理事務	管理課 管理課
基本施策6-⑦ 住環境の保全		
58	市民の健康で快適な生活を守るため、大気環境、水環境、音環境などについての環境基準を全て達成します 環境基準 大気環境：達成（令和2年度時点） 水環境：達成（令和2年度時点） 【評価対象事業】 97公害調査・測定等事務 環境基準 準環境：達成（令和2年度時点） 【評価対象事業】 98航空機騒音調査事務	環境課 環境課



令和6年度 事務事業評価（内部評価）シート （令和5年度実施事業）

事務事業名		交通機関対策等事業									事業開廃年度		継続		
基本データ	予算科目	款	02	項	01	目	01	細目	009	細々目	01	部	都市整備部	課長	大貫 幸人
		款名	総務費									課	交通対策課	担当	光畑 辰弘
	総合基本計画の体系	6快適で便性に富んだまち 6-① 公共交通網の充実 Aバス年間乗客数を増やします									係	交通対策係	電話	内線 2504	
	根拠法令等										個別計画				
	SDG's17の目標	 11 住み続けられるまちづくりを									法令による事業実施義務		<input type="checkbox"/> 義務(<input type="checkbox"/> 市上乗せあり) <input checked="" type="checkbox"/> 任意(<input type="checkbox"/> 都補助等あり)		
事業の概要	事業概要	対象				目的									
	実施内容	鉄道、バス等公共交通機関				公共交通手段の維持・確保、利便性の向上。交通不便地域解消									
事業の実績	事業費（コスト）の推移		(単位)	R4決算	R5当初予算	R5決算	R6当初予算	備考＜特財名称等＞							
	直接事業費		千円	81,722	85,865	83,508	88,544								
	財源内訳	国庫支出金	千円	4,000											
		都支出金	千円												
		地方債	千円												
		その他特定財源	千円	701											
		一般財源	千円	77,021	85,865	83,508	88,544								
	一般職員人件費		千円	4,090	2,484	2,484	4,253								
	人工数		人	0.50	0.30	0.30	0.50								
	再任用職員人件費		千円	2,300	1,389	1,389	1,434								
	人工数		人	0.50	0.30	0.30	0.30								
	再任用代替会計年度任用職員人件費		千円												
	人工数		人												
	総事業費		千円	85,812	88,349	85,992	92,797								
	基本施策の現状値												(時点)	R4実績	R5実績
Aバス乗降客数 97,646人							令和2年度	131,343人	140,473人						
事業の評価	実施方法の妥当性		3	各協議会における会議は定期的開催され、鉄道事業者等への要請活動についても継続的に実施されている。コミュニティバスの運行については運行補助予算額の範囲内にて運行を維持した。											
	実施方法の効率性		3	Aバスの運行経費は、コスト、サービス量ともに横ばいである。前年度比6,766千円の減となった。											
	達成度（基本施策の実績）		4	令和5年度の利用者数は140,473人で、前年の131,343人と比較すると7%の増加となっているので、目標値は達成している。											
	DXへの取組		取組みを推進中				AI・RPA導入の可能性		該当事務なし						
	個別評価	合計点	今後の方向性												
		10													
総合評価		 Aバスの年間乗客数は前年と比較した場合9,130人（7%）の増加となっている。総合基本計画での令和2年の目標値である97,646人に対し、令和5年度実績は140,473人と目標値を達している。 また、Aバス（CNG車）車両の故障が多く、令和9年度には昭島ガスのエコステーションが廃止予定のためCNG車2台を市民の利便性向上及び環境負荷の低減を目的としてEVバス及び充電設備導入が今後の課題となっている。													


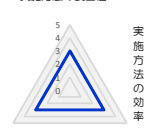
令和6年度 事務事業評価（内部評価）シート （令和5年度実施事業）

事務事業名		自転車等駐車場管理事務										事業開廃年度		-	
基本データ	予算科目	款	02	項	01	目	13	細目	001	細々目	01	部	都市整備部	課長	大貫 幸人
	款名	総務費										課	交通対策課	担当	光畑 辰弘
	総合基本計画の体系	6快適で便性に富んだまち 6-① 公共交通網の充実 自転車等駐車場の利用率を高めます										係	交通対策係	電話	内線 2504
	根拠法令等	自転車法、昭島市自転車等の放置防止等に関する条例、昭島市自転車等駐車場条例										個別計画			
	SDG's17の目標	 11 住み続けられるまちづくりを										法令による事業実施義務		<input checked="" type="checkbox"/> 義務(<input type="checkbox"/> 市上乗せあり) <input type="checkbox"/> 任意(<input type="checkbox"/> 都補助等あり)	
事業の概要	事業概要	対象					目的								
	実施内容	市民及び駅周辺への乗り入れ自転車 駅周辺を中心とした公共の道路及び自転車駐車場 駅周辺の放置自転車等をなくすために設置された自転車等駐車場の適正円滑な管理。 ①指定管理者による管理運営 ②直営事務（施設修繕、土地借賃貸借事務、使用料収納事務、使用料の還付事務、使用料免除事務） 施設数18箇所、収容総数11,774台													
事業の実績	事業費（コスト）の推移		(単位)	R4決算	R5当初予算	R5決算	R6当初予算	備考＜特財名称等＞							
	直接事業費		千円	140,849	148,953	147,049	155,824	【その他特定財源】 ・行政財産使用料 ・自転車等駐車場使用料							
	財源内訳	国庫支出金	千円												
		都支出金	千円												
		地方債	千円												
		その他特定財源	千円	98,250	110,113	109,457	109,941								
	一般財源		千円	42,599	38,840	37,592	45,883								
	一般職員人件費		千円	8,180	8,280	8,280	8,506								
	人工数		人	1.00	1.00	1.00	1.00								
	再任用職員人件費		千円												
	人工数		人												
	再任用代替会計年度任用職員人件費		千円												
	人工数		人												
	総事業費		千円	149,029	157,233	155,329	164,330								
	基本施策の現状値							(時点)	R4実績	R5実績	R6実績				
各月平均自転車等駐車場利用率 32.0%							令和2年度	59.8%	60.4%						
事業の評価	実施方法の妥当性		5	指定管理者と協議し、人員配置や再委託業務の見直しを図るなど実施方法を前年度と変更することで経費の削減と利用者サービスの向上に努めた。											
	実施方法の効率性		4	最低賃金改正に伴い管理員等の人件費が増加したため、総事業費は前年と比較し6,200,000円の増となった。											
	達成度（基本施策の実績）		4	各月平均自転車等駐車場利用率については、令和2年度の32.0%に対し、令和5年度実績は60.4%と大きく上回っている。											
	DXへの取組		取り組み推進へ向け準備中				AI・RPA導入の可能性		該当事務なし						
	個別評価	合計点	今後の方向性	(前年度 現状を維持) → E 現状を維持											
	 達成度（基本施策の実績）		総合評価		市営の自転車等駐車場よりも駅の近くに民間の時間貸し駐輪場が10箇所オープンしたため市営駐輪場の利用者が民間施設へ移行し利用者が減少している。 また、東中神駅北口及び西側の利用状況が常時飽和状態であり利用できない方からの既存施設の拡幅等の要望が多くなっている。										



令和6年度 事務事業評価（内部評価）シート （令和5年度実施事業）

事務事業名		都市計画道路3・4・1号第1期整備事業								事業開廃年度		平成6年度 継続			
基本データ	予算科目	款	08	項	03	目	04	細目	002	細々目	01	部	都市整備部	課長	小野瀬 歳紀
		款名	土木費								課	建設課	担当	萩原 宏也	
	総合基本計画の体系	6快適で便性に富んだまち 6-2 道路環境の整備 事業化された都市計画道路の整備を着実に進めます								係	都市計画道路担当	電話	内線 2527		
	根拠法令等	都市計画法第59条								個別計画					
	SDG's17の目標	 11 住み続けられるまちづくりを													
事業の概要	事業概要	対象 都市計画道路3・4・1号				目的 都市計画道路の整備により国道、都道などの緊急輸送道路との連携及び市役所周辺を含めた道路ネットワークの向上と、無電柱化路線とすることで、災害時の避難路や救援路の確保を行う									
	実施内容	事業認可を受けた路線延長1,274mの内、開通済みは813m、整備率は64%である。 未整備区間は鉄道の立体交差工事を含む461mを令和12年度末の開通を目標に事業を進めている。 令和5年度は前年度に締結した鉄道事業者との協定に基づき、鉄道立体交差の施工を進めている。													
事業の実績	事業費（コスト）の推移		(単位)	R4決算	R5当初予算	R5決算	R6当初予算	備考＜特財名称等＞							
	直接事業費		千円	76,416	582,600	532,380	842,800	【その他特定財源】							
	財源内訳	国庫支出金	千円	12,500			189,000	・公共施設整備等資金							
		都支出金	千円	6,250			94,500	積立基金繰入金							
		地方債	千円	21,000	487,000	444,000									
		その他特定財源	千円	289	37,000										
		一般財源	千円	36,377	58,600	88,380	559,300								
	一般職員人件費		千円	8,180	8,280	8,280	8,506								
	人工数		人	1.00	1.00	1.00	1.00								
	再任用職員人件費		千円												
	人工数		人												
	再任用代替会計年度任用職員人件費		千円												
	人工数		人												
	総事業費		千円	84,596	590,880	540,660	851,306								
	基本施策の現状値						(時点)	R4実績	R5実績	R6実績					
都市計画道路3・4・1号整備率 64%						令和2年度末	64.0%	64.0%							
事業の評価	実施方法の妥当性		3	鉄道の立体交差化は、鉄道事業者と施行協定を締結し協定工事として施工を進める。それ以外は市の発注により計画的に事業を推進している。											
	実施方法の効率性		4	各年度の工事内容が違うため、前年度との工事費の比較は難しい。 よってコストは「変化はなし」、サービス量（成果）は事業の進捗があったため「増加」と判断した。											
	達成度（基本施策の実績）		3	達成度（整備率）は「開通済み区間」としているため、事業を進めている状況であるが、開通延長に変化がないため、達成度の変化はなしとした。											
	DXへの取組		予定なし			AI・RPA導入の可能性		該当事務なし							
	個別評価	合計点 10	今後の方向性	(前年度 現状を維持) → E 現状を維持											
		総合評価	令和12年度末の開通に向けて事業を進めている状況である。 立体交差部分の工事は工程どおり順調に進捗している。 資材の価格高騰・調達不良の懸念事項は今後もあり得るものの、市中央を通る重要な都市計画道路の整備として早期開通を目指し事業を行っていく。												



令和6年度 事務事業評価（内部評価）シート （令和5年度実施事業）

事務事業名		道路維持管理事務								事業開廃年度		継続			
基本データ	予算科目	款	08	項	02	目	02	細目	001	細々目	01	部	都市整備部	課長	高水 昭利
		款名	土木費								課	管理課	担当	原島 大輔	
	総合基本計画の体系	6快適で便性に富んだまち 6-② 道路環境の整備 歩道の延長と幅員の確保により、快適な歩行空間をつくります								係	維持係	電話	042-541-2222		
	根拠法令等									個別計画					
	SDG's17の目標	 11 住み続けられるまちづくりを								法令による事業実施義務		<input type="checkbox"/> 義務(<input type="checkbox"/> 市上乗せあり) <input checked="" type="checkbox"/> 任意(<input type="checkbox"/> 都補助等あり)			
事業の概要	事業概要	対象				目的									
	実施内容	昭島市が管理する1,270路線、228キロメートルの道路 道路の良好な状態を常時確保し、交通安全、事故防止、また、良好で快適な生活環境の実現を図る。 街路樹せん定等委託、除草・草刈委託、清掃・点検委託、市道路線等維持補修委託													
事業の実績	事業費（コスト）の推移		(単位)	R4決算	R5当初予算	R5決算	R6当初予算	備考＜特財名称等＞							
	直接事業費		千円	121,764	134,440	137,285	147,677	【その他特定財源】 ・道路使用料 ・拝島駅自由通路維持管理費負担金 ・公共施設整備等資金積立基金繰入金							
	財源内訳	国庫支出金	千円												
		都支出金	千円	485											
		地方債	千円												
		その他特定財源	千円	78,137	112,708	35,000	119,267								
	一般財源		千円	43,142	21,732	102,285	28,410								
	一般職員人件費		千円	16,360	16,560	16,560	17,012								
	人工数		人	2.00	2.00	2.00	2.00								
	再任用職員人件費		千円	13,800	17,594	17,594	18,164								
	人工数		人	3.00	3.80	3.80	3.80								
	再任用代替会計年度任用職員人件費		千円												
	人工数		人												
	総事業費		千円	138,124	151,000	153,845	164,689								
	基本施策の現状値						(時点)	R4実績	R5実績	R6実績					
歩道の延長距離 総延長79,763m						令和2年度	80,022m	80,104m							
歩道の総面積 226,847㎡						令和2年度	227,571㎡	228,511㎡							
交差点付近の植樹帯・街路樹を整備し、視界を確保します 1箇所（延長16.5m、幅1.25m、面積23.10㎡）						令和2年度末	2箇所 5.1㎡	2箇所 6.0㎡							
事業の評価	実施方法の妥当性		3	定期的なパトロールによる早期発見早期対応が望ましいが、市民等からの苦情・要望に伴う補修等をはじめ日々の作業に時間を取られているのが現状である。											
	実施方法の効率性		3	直営作業と委託を組み合わせることで効率的な対応を心掛けているが、苦情・要望されている件数に対し、処理が追い付いていないところもある。											
	達成度（基本施策の実績）		3	道路維持補修及び道路清掃、街路樹せん定、除草委託等、限られた予算の中で効率よく円滑に業務を行っているが、市民要望はそれを上回っている。											
	DXへの取組		予定なし			AI・RPA導入の可能性		該当事務なし							
	個別評価	合計点 9	今後の方向性	(前年度 成果拡大に向けて実施方法を見直し) → A 成果拡大に向けて実施方法を見直し											
 達成度（基本施策の実績）		総合評価		道路補修や道路清掃などの予算については、市民要望の増加に対して毎年ほぼ同額のため、苦情等の対応に苦慮している。市道における迅速な刈込や除草依頼も多いが、繁茂期の対応は気温の上昇により一部委託業者が対応できない事象に加え、直営の作業員の減少と高齢化もある。また委託対応以外の除草箇所も増えてきており、対応が遅れている状況にある。											


令和6年度 事務事業評価（内部評価）シート （令和5年度実施事業）

事務事業名		市道舗装改修等事業費								事業開廃年度		不明 継続			
基本データ	予算科目	款	08	項	02	目	03	細目	002	細々目	02	部	都市整備部	課長	小野瀬 歳紀
	款名	土木費										課	建設	担当	高橋 規
	総合基本計画の体系	6快適で便性に富んだまち 6-② 道路環境の整備 歩道の延長と幅員の確保により、快適な歩行空間をつくります										係	土木	電話	内線 2522
	根拠法令等	道路法										個別計画		道路舗装個別施設計画	
	SDG's17の目標	 11 住み続けられるまちづくりを										法令による事業実施義務		<input type="checkbox"/> 義務(<input type="checkbox"/> 市上乗せあり) <input checked="" type="checkbox"/> 任意(<input checked="" type="checkbox"/> 都補助等あり)	
事業の概要	事業概要	対象		目的											
	実施内容	昭島市道 計画的な市道舗装改修と合わせ、可能な限り車道と歩道の段差解消や勾配緩和、歩道舗装（透水性舗装）の整備、視覚障害者誘導ブロック設置等の検討など、人にやさしい道路づくりを目指す。 主に以下の市道の道路改修工事と橋りょう改修工事を実施した。 昭島6号、14号、23号道路改修工事、昭島27号道路改良工事 車道舗装 1,921㎡、カラー舗装工 211㎡、歩道舗装 682㎡、視覚障害者誘導用シート設置工 11㎡ 南219号橋りょう改修工事 コンクリート補修工 1㎡、表面保護工 50㎡、高欄取替え工 11m													
事業の実績	事業費（コスト）の推移		(単位)	R4決算	R5当初予算	R5決算	R6当初予算	備考＜特財名称等＞							
	直接事業費		千円	139,007	169,000	130,516	214,500								
	財源内訳	国庫支出金	千円	2,310	6,160	6,160									
		都支出金	千円	98,714	144,420	109,420	6,300								
		地方債	千円												
		その他特定財源	千円												
		一般財源	千円	37,983	18,420	14,936	208,200								
	一般職員人件費		千円	36,810	37,260	37,260	34,024								
	人工数		人	4.50	4.50	4.50	4.00								
	再任用職員人件費		千円												
	人工数		人												
	再任用代替会計年度任用職員人件費		千円												
	人工数		人												
	総事業費		千円	175,817	206,260	167,776	248,524								
	基本施策の現状値												(時点)	R4実績	R5実績
歩道の延長距離 総延長79,763m							令和2年度	80,022m	80,104m						
歩道の総面積 226,847㎡							令和2年度	227,571㎡	228,511㎡						
事業の評価	実施方法の妥当性		3	発注時期の平準化を図りつつ、計画的な市道舗装改修に努め、一部歩道の透水性舗装や視覚障害者誘導シートの設置を実現した。											
	実施方法の効率性		3	工事内容が年度ごと、路線ごとで異なるため、比較が困難である。そのため、現状維持の横ばいとする。											
	達成度（基本施策の実績）		3	本事業は、現在開通している市道の改修工事であり、基本的に歩道の延長及び総面積の現状値に含まれているため、数値として表せない。											
	DXへの取組		予定なし			AI・RPA導入の可能性		該当事務なし							
	個別評価	合計点 9	今後の方向性	(前年度 現状を維持) → E 現状を維持											
			総合評価	計画的かつ継続的な市道舗装改修は、市民が安心して暮らせるまちづくりの一環として重要な事業である。令和5年度は、車道舗装と合わせて歩道の透水性舗装や橋りょう改修工事も実施した。今後も、計画的に事業を進めたい。											



令和6年度 事務事業評価（内部評価）シート （令和5年度実施事業）

事務事業名		管内道路整備事業								事業開廃年度		継続			
基本データ	予算科目	款	08	項	02	目	03	細目	002	細々目	01	部	都市整備部	課長	高水 昭利
		款名	土木費								課	管理課	担当	小沢 岩夫	
	総合基本計画の体系	6快適で便性に富んだまち 6-② 道路環境の整備 歩道の延長と幅員の確保により、快適な歩行空間をつくります								係	庶務担当	電話	内線 2505		
	根拠法令等	道路法								個別計画					
	SDG's17の目標	 11 住み続けられるまちづくりを													
事業の概要	事業概要	対象		目的											
	実施内容	市道		管内道路の整備により、市道の安全で円滑な通行を確保し、生活環境の向上を図る。											
事業の実績	事業費（コスト）の推移		(単位)	R4決算	R5当初予算	R5決算	R6当初予算	備考＜特財名称等＞							
	直接事業費		千円	19,997	20,000	57,874	20,000	【その他特定財源】 ・ 公共施設整備等資金 積立基金繰入金							
	財源内訳	国庫支出金	千円												
		都支出金	千円	19,700	13,000	48,000	13,000								
		地方債	千円												
		その他特定財源	千円		5,000										
		一般財源	千円	297	2,000	9,874	7,000								
	一般職員人件費		千円	8,180	12,420	12,420	12,759								
		人工数	人	1.00	1.50	1.50	1.50								
	再任用職員人件費		千円												
		人工数	人												
	再任用代替会計年度任用職員人件費		千円												
		人工数	人												
	総事業費		千円	28,177	32,420	70,294	32,759								
	基本施策の現状値							(時点)	R4実績	R5実績	R6実績				
歩道の延長距離 総延長79,763m					令和2年度	80,022m	80,104m								
歩道の総面積 226,847㎡					令和2年度	227,571㎡	228,511㎡								
交差点付近の植樹帯・街路樹を整備し、視界を確保します 1箇所（延長16.5m、幅1.25m、面積23.10㎡）					令和2年度末	2箇所 5.1㎡	2箇所 6.0㎡								
事業の評価	実施方法の妥当性		3	補修を含め道路に関する要望は多く、内容は多岐にわたるため、工事内容、規模等に合わせて適切な対応を求められている。											
	実施方法の効率性		3	道路維持補修、管内道路補修工事、道路建設工事と連動し、適宜対応している。											
	達成度（基本施策の実績）		3	道路補修への苦情や要望が多く、対応しているが、それを上回っているのが、原状である。											
	DXへの取組						AI・RPA導入の可能性								
	個別評価	合計点 9	今後の方向性	(前年度 抜本的な見直し) → C 抜本的な見直し											
		総合評価	道路補修に関する苦情や要望が多く、問題解消に向けて対処しているものの減る傾向はない。費用面を軸に担当間で連携し、今までの経験等を生かしつつ、更なる効率化を図る必要がある。												



令和6年度 事務事業評価（内部評価）シート （令和5年度実施事業）

事務事業名		都市計画審議会事務										事業開廃年度		昭和62年度		
														継続		
基本データ	予算科目	款	08	項	03	目	01	細目	003	細々目	01	部	都市計画部	課長	塚本 政	
		款名	土木費										課	都市計画課	担当	土屋 亜衣良
	総合基本計画の体系	6快適で利便性に富んだまち 6-⑤ 市街地の整備 まちなみや景観を美しいと思う市民の割合を増やします										係	都市計画係	電話	内線 2262	
	根拠法令等	都市計画法、昭島市都市計画審議会条例										個別計画				
	SDG's17の目標	11 住み続けられるまちづくりを										法令による事業実施義務		<input checked="" type="checkbox"/> 義務(<input type="checkbox"/> 市上乗せあり) <input type="checkbox"/> 任意(<input type="checkbox"/> 都補助等あり)		
事業の概要	事業概要	対象		目的												
		市の都市計画		都市計画行政の適正かつ円滑な運営を図る。												
	実施内容	都市計画法第77条の2第1項の規定に基づき設置された昭島市都市計画審議会の運営事務を行なう。審議会には市議会議員5名、学識経験者5名、関係行政機関職員3名及び市民2名の合計15名で構成され、都市計画に関する事項を調査・審議する。 令和5年度は3回の都市計画審議会を開催し、中神駅北側地区地区計画に関する都市計画決定や生産緑地地区の変更等の諮問11件について審議を行ない、答申された。														
事業の実績	事業費（コスト）の推移		(単位)	R4決算	R5当初予算	R5決算	R6当初予算	備考＜特財名称等＞								
	直接事業費		千円	112	216	202	217									
	財源内訳	国庫支出金	千円													
		都支出金	千円													
		地方債	千円													
		その他特定財源	千円													
		一般財源	千円	112	216	202	217									
	一般職員人件費		千円	2,454	2,484	2,484	2,552									
	人工数		人	0.30	0.30	0.30	0.30									
	再任用職員人件費		千円	1,380												
	人工数		人	0.30												
	再任用代替会計年度任用職員人件費		千円													
	人工数		人													
	総事業費		千円	2,566	2,700	2,686	2,769									
	基本施策の現状値														(時点)	R4実績
昭島のまちなみや景観を「美しいと思う」「やや美しいと思う」市民の割合 57.9%							令和元年度	調査未実施	調査未実施							
住み続けたいと思う市民の割合を増やします 昭島市に「今後とも住み続けたい」「どちらかという住み続けたい」と思う市民の割合 81.8%							令和元年度	調査未実施	調査未実施							
事業の評価	実施方法の妥当性		3	法令に基づく事務であり、妥当である。												
	実施方法の効率性		3	審議会では複数案件をまとめて諮問・報告し、また書面開催と併用するなど、事業の適正化・効率化を図った。												
	達成度（基本施策の実績）		3	令和5年度において数値の捕捉を行っていない。												
	DXへの取組		検討中				AI・RPA導入の可能性		該当事務あり							
	個別評価	合計点 9	今後の方向性	(前年度 現状を維持) → E 現状を維持												
			総合評価	令和5年度は都市計画審議会を3回開催し、うち1回は書面開催とした。議事録作成にはAI議事録システムを活用し、事務の効率化を図っている。引き続き無駄のない適正な運営を行う。												



令和6年度 事務事業評価（内部評価）シート （令和5年度実施事業）

事務事業名		都市計画推進事業										事業開廃年度		令和4年度		
														継続		
基本データ	予算科目	款	08	項	03	目	01	細目	005	細々目	01	部	都市計画部	課長	塚本 政	
		款名	土木費										課	都市計画課	担当	土屋 亜衣良
	総合基本計画の体系	6快適で便性に富んだまち 6-5 市街地の整備 住み続けたいと思う市民の割合を増やします（再掲）										係	都市計画係	電話	内線 2262	
	根拠法令等											個別計画				
	SDG's17の目標	 11 住み続けられるまちづくりを										法令による事業実施義務		<input type="checkbox"/> 義務(<input type="checkbox"/> 市上乗せあり) <input checked="" type="checkbox"/> 任意(<input type="checkbox"/> 都補助等あり)		
事業の概要	事業概要	対象 市民、事業者					目的 子どもや若い世代も含めた市民にまちづくりへの関心を持ってもらい、市民や事業者とともにまちづくりを推進する。									
	実施内容	市民参画によるワークショップや講演会、まちづくり懇談会等のイベントを開催する。 令和5年度は小学4年生から6年生を対象に、建物の模型を使ってゲーム感覚でまちづくりを学ぶイベントを12月に開催し、33名が参加した。														
事業の実績	事業費（コスト）の推移		(単位)	R4決算	R5当初予算	R5決算	R6当初予算	備考＜特財名称等＞								
	直接事業費		千円	0	56	27	59									
	財源内訳	国庫支出金	千円													
		都支出金	千円													
		地方債	千円													
		その他特定財源	千円													
		一般財源	千円	0	56	27	59									
	一般職員人件費		千円	2,454	2,484	2,484	2,552									
	人工数		人	0.30	0.30	0.30	0.30									
	再任用職員人件費		千円	1,380		463	956									
	人工数		人	0.30		0.10	0.20									
	再任用代替会計年度任用職員人件費		千円													
	人工数		人													
	総事業費		千円	2,454	2,540	2,511	2,611									
	基本施策の現状値												(時点)	R4実績	R5実績	R6実績
昭島市に「今後とも住み続けたい」「どちらかというに住み続けたい」と思う市民の割合 81.8%							令和元年度	調査未実施	調査未実施							
事業の評価	実施方法の妥当性		4	都市計画に興味を持ってもらえるよう子どもたちがゲーム感覚で学ぶことができる内容にした。都市計画やまちづくりへの関心を高めることができたため、妥当である。												
	実施方法の効率性		3	職員が講師やファシリテーターとなって実施することで事業費を抑制している。												
	達成度（基本施策の実績）		3	令和5年度において数値の捕捉を行っていない。												
	DXへの取組		検討中				AI・RPA導入の可能性		導入に向け検討中							
	個別評価	合計点	今後の方向性	(前年度 現状を維持) → E 現状を維持												
	10															
 達成度（基本施策の実績）		総合評価		令和5年度は、小学4～6年生を対象に、まちのルール（用途地域等）について説明し、建物の模型を使って自分だけのまちづくりを行った。ガチャで嫌悪施設や遊興施設を投入する、コインで建物を入手できるなどゲーム要素入れたことで楽しく都市計画を学んでもらえ、好評であった。 今後はさらに幅広い年代に向けてワークショップや講演会を開催する。												



令和6年度 事務事業評価（内部評価）シート （令和5年度実施事業）

事務事業名		公園維持管理事務								事業開廃年度		-					
基本データ	予算科目	款	08	項	03	目	02	細目	001	細々目	01	部	都市整備部	課長	高水 昭利		
	款名	土木費								課	管理課	担当	細谷 隆宏				
	総合基本計画の体系	6快適で便性に富んだまち 6-⑤ 市街地の整備 市民一人当たりの公園面積を増やします								係	公園管理係	電話	内線 2179				
	根拠法令等	都市公園法、昭島市都市公園条例、施行規則								法令による事業実施義務		<input checked="" type="checkbox"/> 義務(<input type="checkbox"/> 市上乗せあり) <input type="checkbox"/> 任意(<input type="checkbox"/> 都補助等あり)					
	SDG's17の目標	 13 気候変動に具体的な対策を															
事業の概要	事業概要	対象				目的											
	実施内容	43箇所の都市公園、その他宮沢広場及び拝島緑地広場 公園の施設等を良好に維持管理し、来園者に気持ちよく利用してもらう。 43箇所の都市公園、その他宮沢広場及び拝島緑地広場等の適切な維持管理を行う。主な業務は清掃、除草、樹木せん定、遊具等の公園施設の維持補修及び整備工事															
事業の実績	事業費（コスト）の推移		(単位)	R4決算	R5当初予算	R5決算	R6当初予算	備考＜特財名称等＞									
	直接事業費		千円	101,841	134,561	108,596	213,439	【その他特定財源】 ・公園（電柱電話柱等）使用料 ・新幹線車両改修事業指定寄附金 ・行政財産使用料 基金繰入金 ・緑化推進基金繰入金 ・庁舎等光熱水費									
	財源内訳	国庫支出金	千円														
		都支出金	千円	3,799	16,295	6,321	51,350										
		地方債	千円														
		その他特定財源	千円	25,902	23,773	24,077	58,242										
		一般財源	千円	72,140	94,493	78,198	103,847										
	一般職員人件費		千円	8,180	4,140	8,280	8,506										
	人工数		人	1.00	0.50	1.00	1.00										
	再任用職員人件費		千円	920	3,241	3,241	3,346										
	人工数		人	0.20	0.70	0.70	0.70										
	再任用代替会計年度任用職員人件費		千円														
	人工数		人														
	総事業費		千円	110,021	138,701	116,876	221,945										
	基本施策の現状値												(時点)	R4実績	R5実績	R6実績	
市民一人当たりの公園面積 10.84㎡							令和2年度末	10.77㎡	10.75㎡								
事業の評価	実施方法の妥当性		3	現状維持という点では妥当であると思うが、さらなる維持管理の効率化について検討すべきである。													
	実施方法の効率性		3	専門技術者による遊具の安全点検を実施した結果、市内の都市公園等に設置している遊具の安全性などの状況を把握することができた。													
	達成度（基本施策の実績）		3	主な業務のうち、清掃、除草、樹木剪定、遊具等の公園施設の維持補修に関しては、予算が限られているため効率よく行っているが、市民要望はそれを上回っている。													
	DXへの取組		予定なし			AI・RPA導入の可能性		該当事務なし									
	個別評価	合計点 9	今後の方向性	(前年度 抜本的な見直し) → C 抜本的な見直し													
		総合評価		公園施設の老朽化がひどく、7割以上が保障期間をすぎており、市民要望に対して現状の体制では維持管理が追いついていない。 また、公園樹木についても植えられてから30年から40年以上が経過し、台風等の災害時、倒木の恐れがあることから、計画的にせん定、伐採し植え替え等を行わなければならないが、対象樹木が多数あるため、追いついていない。													



令和6年度 事務事業評価（内部評価）シート （令和5年度実施事業）

事務事業名		児童遊園維持管理事務								事業開廃年度		-			
基本データ	予算科目	款	08	項	02	目	03	細目	002	細々目	01	部	都市整備部	課長	高水 昭利
	款名	土木費								課	管理課	担当	細谷 隆宏		
	総合基本計画の体系	6快適で便性に富んだまち 6-⑤ 市街地の整備 市民一人当たりの公園面積を増やします								係	公園管理係	電話	内線 2179		
	根拠法令等	都市公園法、昭島市都市公園条例、施行規則								法令による事業実施義務		<input checked="" type="checkbox"/> 義務(<input type="checkbox"/> 市上乗せあり) <input type="checkbox"/> 任意(<input type="checkbox"/> 都補助等あり)			
	SDG's17の目標	 13 気候変動に具体的な対策を													
事業の概要	事業概要	対象				目的									
	実施内容	市内49箇所の児童遊園 児童遊園の施設等を良好に維持管理し、来園者に気持ちよく利用してもらう。 49箇所の児童遊園の適切な維持管理。主な業務は、清掃、除草、樹木せん定及び遊具等の園内施設の維持補修。													
事業の実績	事業費（コスト）の推移		(単位)	R4決算	R5当初予算	R5決算	R6当初予算	備考＜特財名称等＞							
	直接事業費		千円	40,543	36,356	27,220	95,539	【その他特定財源】 ・行政財産使用料 ・緑化推進基金繰入金							
	財源内訳	国庫支出金	千円												
		都支出金	千円	12,038	11,140	4,070	4,302								
		地方債	千円												
		その他特定財源	千円	500	839		60,739								
		一般財源	千円	28,005	24,377	23,150	30,498								
	一般職員人件費		千円	8,180	4,140	8,280	8,506								
		人工数	人	1.00	0.50	1.00	1.00								
	再任用職員人件費		千円	920	3,241	3,241	3,346								
		人工数	人	0.20	0.70	0.70	0.70								
	再任用代替会計年度任用職員人件費		千円												
		人工数	人												
	総事業費		千円	48,723	40,496	35,500	104,045								
	基本施策の現状値							(時点)	R4実績	R5実績	R6実績				
市民一人当たりの公園面積 10.84㎡							令和2年度末	10.77㎡	10.75㎡						
事業の評価	実施方法の妥当性		3	現状維持という点では妥当であると思うが、さらなる維持管理の効率化について検討すべきである。											
	実施方法の効率性		4	専門技術者による遊具の安全点検を実施した結果、市内の児童遊園に設置している遊具の安全性などの状況を把握することができた。											
	達成度（基本施策の実績）		3	主な業務のうち、清掃、除草、樹木剪定、遊具等の園内施設の維持補修に関しては、予算が限られているため効率よく行っているが、市民要望はそれを上回っている。											
	DXへの取組		予定なし				AI・RPA導入の可能性	該当事務なし							
	個別評価	合計点 10	今後の方向性	(前年度 抜本的な見直し) → C 抜本的な見直し											
			総合評価	平成27年度より子育て支援課担当していた児童遊園維持管理業務が、全て管理課の業務となった。 児童遊園施設の老朽化が激しく、市民要望に対して現状の体制では維持管理が追いついていない。 今後は都市公園等と一体的な維持管理も視野に入れ、さらなるコスト改善に向けた検討が必要である。											

令和6年度 事務事業評価（内部評価）シート （令和5年度実施事業）

事務事業名		公害調査・測定等事務										事業開廃年度		継続	
基本データ	予算科目	款	04	項	01	目	05	細目	003	細々目	01	部	環境部	課長	井上 聡
	款名	衛生費										課	環境課	担当	秋山 勲
	総合基本計画の体系	6快適で利便性に富んだまち 6-⑦ 住環境の保全 市民の健康で快適な生活を守るため、大気環境、水環境、音環境などについての環境基準を全て達成します										係	環境保全係	電話	内線 2298
	根拠法令等	環境基本法、環境確保条例（都）など										個別計画			
	SDG's17の目標	 11 住み続けられるまちづくりを													
事業の概要	事業概要	対象					目的								
	実施内容	騒音、振動、大気汚染、水質汚濁、土壌汚染、悪臭防止、地盤沈下、放射能					環境（公害）の調査・測定を実施することにより、公害等による被害の軽減と未然防止に努める。								
事業の実績	事業費（コスト）の推移		(単位)	R4決算	R5当初予算	R5決算	R6当初予算	備考＜特財名称等＞							
	直接事業費		千円	8,317	9,725	9,116	10,462	【その他特定財源】 ・環境確保条例事務委託金 ・アスベスト資格取得促進事業負担金 ・工場設置・変更認可申請手数料 ・雇用保険料 ・公文書開示手数料 ・複写機利用料 ・保険返戻金等							
	財源内訳	国庫支出金	千円												
		都支出金	千円	7,877	9,350	9,052	9,902								
		地方債	千円												
		その他特定財源	千円	38	79	64	79								
		一般財源	千円	402	296	0	481								
	一般職員人件費		千円	23,722	24,012	24,012	24,667								
	人工数		人	2.90	2.90	2.90	2.90								
	再任用職員人件費		千円												
	人工数		人												
	再任用代替会計年度任用職員人件費		千円												
	人工数		人												
	総事業費		千円	32,039	33,737	33,128	35,129								
	基本施策の現状値											(時点)	R4実績	R5実績	R6実績
環境基準 大気環境：達成							令和2年度	達成	達成						
水環境：達成							令和2年度	達成	達成						
事業の評価	実施方法の妥当性		3	公害の原因となる物質の継続的な測定により、公害の発生を予見し、未然に防止できている。											
	実施方法の効率性		3	令和4年度決算額8,317千円に対し、令和5年度決算額9,116千円で、9.6%の増だった。各調査の実施時期が重ならないよう、計画的・効率的に実施している。											
	達成度（基本施策の実績）		3	公害は、その発生が予見できにくいいため、常に監視しておく必要がある。継続的に調査・測定することで公害の発生を予見し、未然に防止することこそが重要である。											
	DXへの取組		予定なし				AI・RPA導入の可能性		該当事務なし						
	個別評価	合計点 9	今後の方向性		(前年度 現状を維持) → E 現状を維持										
			総合評価		生活環境の現状を把握するため大気測定、河川等の水質調査、交通騒音調査を定期的に実施することで、公害による市民・事業者への大きな影響はなかった。今後も継続して市民の生活環境を注視し、調査結果も踏まえ、必要に応じて適切な指導を実施する。										

令和6年度 事務事業評価（内部評価）シート （令和5年度実施事業）

事務事業名		航空機騒音調査事務										事業開廃年度		昭和38年度		
														継続		
基本データ	予算科目	款	04	項	01	目	05	細目	003	細々目	01	部	環境部	課長	井上 聡	
		款名	衛生費										課	環境課	担当	秋山 勲
	総合基本計画の体系	6快適で利便性に富んだまち 6-⑦ 住環境の保全 <small>市民の健康で快適な生活を守るため、大気環境、水環境、音環境などについての環境基準を全て達成します</small>										係	環境保全係	電話	内線 2298	
	根拠法令等											個別計画				
	SDG's17の目標	 11 住み続けられるまちづくりを										法令による事業実施義務		<input type="checkbox"/> 義務(<input type="checkbox"/> 市上乗せあり) <input checked="" type="checkbox"/> 任意(<input type="checkbox"/> 都補助等あり)		
事業の概要	事業概要	対象					目的									
	実施内容	横田基地を離発着する航空機による騒音 本市は、航空機騒音によって、市民生活や都市整備機能にさまざまな影響を受けており、これらの実態を把握するために実施する。 固定調査を3箇所（東京都設置分を含む）、移動調査を4箇所で行っている。 ・固定調査（常設） ①市役所庁舎屋上（東京都設置）、②拝島第二小学校 ③市民会館・公民館 ・移動調査（3か月ごとに4箇所で測定） ①拝島第三小学校、②市立昭和会館、③玉川会館（市民交流センター工事により）、④旧拝島第四小学校														
事業の実績	事業費（コスト）の推移		(単位)	R4決算	R5当初予算	R5決算	R6当初予算	備考＜特財名称等＞								
	直接事業費		千円	4,148	1,601	2,144	1,779									
	財源内訳	国庫支出金	千円													
		都支出金	千円													
		地方債	千円													
		その他特定財源	千円													
		一般財源	千円	4,148	1,601	2,144	1,779									
	一般職員人件費		千円	4,090	4,140	4,140	4,253									
	人工数		人	0.50	0.50	0.50	0.50									
	再任用職員人件費		千円													
	人工数		人													
	再任用代替会計年度任用職員人件費		千円													
	人工数		人													
	総事業費		千円	8,238	5,741	6,284	6,032									
	基本施策の現状値							(時点)	R4実績	R5実績	R6実績					
環境基準 準環境 : 達成							令和2年度	未達成	達成							
事業の評価	実施方法の妥当性		3	現在の実施方法を継続することで、航空機騒音の推移が経年的に把握することができる												
	実施方法の効率性		4	令和4年度決算額4,148,000円に対し、令和5年度決算額2,144,000円で、▲48.3%の減だった。固定調査（常設）箇所（3箇所：都設置2箇所、市設置2箇所）の他、移動調査箇所（四半期に1度移動）で測定し、移動調査箇所に関し令和4年度から市民交流センターが工事のため、代わりに玉川会館を移動調査箇所とした。限られた予算及び人員の中で効率的かつ効果的な運用に努めている。												
	達成度（基本施策の実績）		3	市民生活や都市整備機能にさまざまな影響を受けている本市では、航空機騒音の測定及び収集や調査結果の公表は重要であり、それを継続的に実施できているため達成度は高い。												
	DXへの取組		予定なし				AI・RPA導入の可能性		該当事務なし							
	個別評価	合計点	今後の方向性	（前年度 現状を維持 ）→ E 現状を維持												
		10														
実施方法の妥当性		総合評価														
		航空機の飛行ルートの変更等を適切に把握するため、令和3年度に市民会館・公民館に固定調査用の騒音測定機を新たに整備した。令和4年度には、騒音集計処理システムの更新を行い、騒音測定機等を必要に応じて更新を図るなど、継続的に安定した騒音測定が可能な状態にしている。今後も継続的に航空機騒音調査を実施し、生活環境の向上に取り組んでいく。														